

登り窯再生プロジェクト

登り窯を活用した観光集客

1) 事業者概要

実施団体名	登り窯再生プロジェクト
グループ人数	5名
所在地	京都市右京区西京極西池田町50 全京都ハウジング2F (事業実施場所：京都市東山区六波羅竹村町151)
ホームページ	-

2) 事業内容

実施期間	平成16年7月～平成16年11月
総事業費	1,000千円

事業実施の背景

生活様式の変化から陶磁器を使うシーンが減少したことや企業の業績の悪化に伴い、贈答用の陶磁器の消費が減少したことなどから、衰退傾向にある陶磁器業界・清水焼の活性化を図る必要があった。

内 容

京都市東山区の六原地域で休止中の「登り窯」を復興し、新たな観光資源として打ち出し、この窯を中心として清水焼及び地域をPRした。

- 1) 六原地域にある築110年、京都市内最大規模だが36年前から休止中の登り窯を大気汚染防止法をクリアする設備へ補修・改修
- 2) 8月16日の「大文字五山の送り火」に合わせて登り窯に火入れ式を行い、窯業の街・六原地域の情報を発信

目標及び達成状況

(目標)

清水焼の衰退に歯止めをかけ、清水焼及び地域活性化への起爆剤となるよう登り窯を復興する。

(達成状況)

8月16日に登り窯の火入れ式を実施。当日は、行政・報道機関・地域住民・関係者等を合わせ80名以上の参加があり、マスコミにも取り上げられ、事業・地域を大きくPRできた。

効果及び評価

事業実施後、陶磁器業界の有志を集い、大手旅行社とのタイアップによる登り窯を活用した陶芸体験や従来の伝統技術を生かした新製品の開発を目的とする未来「器」プロジェクトを編成し活動を開始するなど、今後のビジネス展開の土台を築くことができた。

実施後の反省点

陶磁器・窯業業界に対して広く参加の呼びかけをしたが、思った以上の参加は無かった。

(次年度以降の取組等)

現在、未来「器」プロジェクトを立ち上げたところであり、継続事業として「六原地域活性化を考える会」とも合わせて、活動を継続する。

事業成果のワンポイント

伝統産業の「清水焼」の更なる発展の起爆剤となるよう、藤平陶芸の休止中の登り窯に火を入れ再生させるという地域活性化プロジェクト。火入れ式には、陶芸家や地域住民らが多数参加するとともに、登り窯を活用した陶芸家による未来「器」プロジェクトもスタートした。



グループの会合



火入れ式



イメージパース